清南小だより

～たくましい子・思いやりのある子・よく学ぶ子～

Ｒ７・５・２７
校長　佐藤　裕

４月３０日（水）　第１回地域協議会（学校運営協議会）を開催しました。

今年度から令和８年度にかけての２年間，本校は「コミュニティースクール（CS)」のモデル校(市内２中学校，２小学校)として宇都宮市から指定を受け，モデル事業を実施することとなりました。「コミュニティースクール（CS)」とは，学校運営協議会を設置した学校のことをいい，学校と地域が一体となって「特色ある学校づくり」を進める仕組みとして，国が推進しているものです。

本校においては，保護者や地域住民，学校職員から選出された２９名を，教育委員会が委員として任命し，学校運営の基本的な方針や地域学校共同活動の内容などを話し合い，その結果を保護者や地域団体等に共有します。第１回目は，「学校運営の方針」について委員の皆様から「承認」をいただくとともに，「令和７年度の活動」について協議いただきました（５月１日付けさくら連絡網　「みなみかぜ便り」を参照)。これまでの地域協議会の活動を引き継ぎながら，特色ある教育活動を一層推進していくことで，「地域とともにある学校づくり」を目指してまいります。

令　和　７　年　度　　清　原　南　小　学　校　の　教　育

【学校教育目標】たくましい子，思いやりのある子，よく学ぶ子の育成

たくましい子（体）

【重点目標】
一人一人が運動に親しみ，健康でたくましい心と体をつくろうとする児童の育成
【取組】
(1)望ましい生活習慣の育成
・健康診断結果やアンケート調査を基に，学校と家庭が連携して行う健康教育の実施
・丁寧な歯の磨き方や目の健康を保つ生活習慣の徹底
・喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導と家庭との情報共有の実施
(2)健康・体力の向上
・ミニハードルやラダートレーニングを取り入れたサーキットトレーニングの実施
・デジタルを効果的に活用した学習活動を通した体力の向上
(3)危険予測能力の育成
・交通安全教室，避難訓練等を通した自らの命を守り抜くための判断力や実践力の育成
(4)家庭・地域との連携・協力
・保護者やボランティアによる交通安全指導や不審者対策の実施
・食に対する関心を高める「お弁当の日」の実施
・地域学校園共通の「きらきらウィーク・朝食を食べよう週間」による食・歯磨き習慣の養成

思いやりのある子（徳）

【重点目標】
他者を思いやり，お互いのよさを認め合い助け合う，心豊かで健やかな児童の育成
【取組】
(1)自己のよさを伸ばし，認められる場の工夫
・学習等における振り返りを通した自己のよさの気づき，自己肯定感の育成
・一人一人の児童理解に基づく児童に寄り添ったきめ細やかな学級経営の推進
・いじめゼロ強調月間の実施(いじめゼロ集会，アンケート等)
・Q-U調査を活用した学級経営
・ハートタイム(教育相談)による教師と児童の信頼関係の構築
・欠席児童に係る情報共有と組織的な初期対応の実施，1人1台端末の活用促進
・配慮児童の共通理解と外部機関等と連携した個に対応した組織的対応の実施
(2)心豊かで健やかな児童の育成
・情報機器の正しい使い方やマナーの指導と家庭への啓発
・道徳科を核とした思いやりの心の育成と心のたくましさの涵養
・児童主体のあいさつ運動，小中合同あいさつ運動の実施
・地域学校園共通のきまりに基づいた指導

よく学ぶ子（知）

【重点目標】
生き生きと活動し，学びの楽しさを実感できる児童の育成
～基礎基本を踏まえて「わかる」「できる」を味わわせる算数科の授業作りを通して～
【取組】
(1)学力調査の分析に基づく課題設定と共通実践
・授業改善の推進(宇都宮モデルの指導の充実)
・特別支援教育の視点を取り入れた課題提示や学習展開の工夫
・教科等横断的視点に立った資質・能力の育成(SDGs，人権教育等)
・郷土学習の充実(宇都宮学)(荒井退造)
・きよべんかくかく(書く)キャンペーンの実施
(2)情報資料を活用した学習の工夫改善
・図書や資料等の教材，1人1台端末の効果的な活用
・読書活動の推進
・ICT活用能力や国際理解力の育成
(3)授業研究の工夫
・「育てたい力」を見据えた授業研究の実践(通年)
・教材分析，効果的な発問の研究
(4)家庭学習の習慣化と家庭への啓発
・6学年を見通した家庭学習の方針と「清原っ子家庭学習の約束」の活用
(5)地域の教育力を活かした教育活動の推進
・「宮っ子『夢』教室」の実施(6学年　2月)

特色ある学校づくりの推進

地域とのふれあい

○勤労生産的行事(田植え，稲刈り，農園活動，学校地域クリーン活動等)
○地域素材の教材化(水辺の楽校，高田沼公園，道徳科地域教材「荒井退造」等)
○地域人材・「街の先生」の活用
(学習ボランティア，教材作成ボランティア，キャリア教育「宮っこ『夢』教室」等)
○地域と連携した各種行事(清南まつり，感謝の会　等)

人とのふれあい

○縦割り班活動の推進(清掃，給食，集会活動，共遊等)
○企業等との連携(各種出前講座の活用・環境，福祉，珠算等)
○あいさつ運動(児童会，中学校，地域)
○家庭との連携(親子奉仕活動，親学講座)

本とのふれあい

○朝の読書の推進(読み聞かせ・ブックトーク)
○読書環境の整備(学級文庫の充実，図書室の活用)
○各種推進活動の充実(チャレンジ読書，読書週間)
○教科学習の充実(興味・関心の追究，辞書の活用)
○自主学習・調べ学習・家読の推進(ファミリー読書)

小中一貫教育・地域学校園構想　　**ＰＴＡ・清南小地域協議会・地域諸団体**

地域とのふれあい・人とのふれあい・本とのふれあい

【１・２年生】　４月３０日（水）　生活科校内学習「学校探検」

２年生のお兄さんお姉さんに連れられて，元気いっぱいの１年生が学校探検に出かけました。ちょっぴり緊張した顔で校長室や職員室，保健室，音楽室などを探検して一生懸命にメモをとる姿が見られました。少しずつ学校生活に慣れてきた１年生にとって，今回の探検は新しい発見がいっぱいの楽しい時間になったことでしょう。

【５年生】　５月１日（木）　農業体験「田植え」

「高田沼を愛する会」「上籠谷自治会」「PTA 第５学年委員」等の皆様にご支援いただき，田植えを行いました。心地よい水の温かさや泥の感触に触れ，豊かな自然に囲まれた里山の水田に，子供たちの歓声が響きました。総合的な学習の時間で取り組む「米作り」や「SDGs」，食への関心を高める貴重な経験をすることができました。

【全学年】　５月７日（水）　避難訓練「地震・火事」

児童は，ハンカチを口に当て，話をせずに落ち着いて避難することができました。いざという時に備えて避難の仕方を身に付けるとともに，災害への意識を高めることが重要です。ご家庭でも，地震の際の避難の仕方や，水や食料などの備蓄品等について，話し合ってみてください。

【全学年】１・２年生　５月８日（木），２～５年生　５月１２日（月）　サトイモの植え付け

１年生と６年生，２年生と５年生，３年生と４年生がペアになり，手をつないで学校農園へ出かけました。上級生と下級生が一緒になって，マルチが張ってある５０ｍほどの畝に，穴をあけてサトイモの種芋を植えることができました。黒々とした畑の土の感触を楽しむとともに，秋の収穫を楽しみにする児童の笑顔が見られました。

【全学年】　５月１４日（水）　ながら見守り活動

「ながら見守り活動」とは，地域住民や事業者が，散歩や配達等を行いながら，防犯の視点をもって子供たちの見守りを行う活動のことで，警察署が推奨しているものです。その一環として，警察や青色パトロール隊，ボランティア ，PTA 安全環境委員などの皆様が，児童と一緒に下校したり，危険箇所で立哨を行ったりしました。

【４・５・６学年】　５月 22 日（木）　読み聞かせ

読み聞かせボランティア「南風」による，今年度最初の朝の読み聞かせがありました。13 名のボランティアの皆様に，前期５回，後期５回，計１０回の読み聞かせを行っていただく予定です。特色ある教育活動の一つである「本とのふれあい」を通じて，子供たちの世界が広がり，豊かな心が培われることを期待しています

学校 HP でも子供たちの日々の様子を紹介しています。　http://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-s/